

佐保会兵庫県支部だより

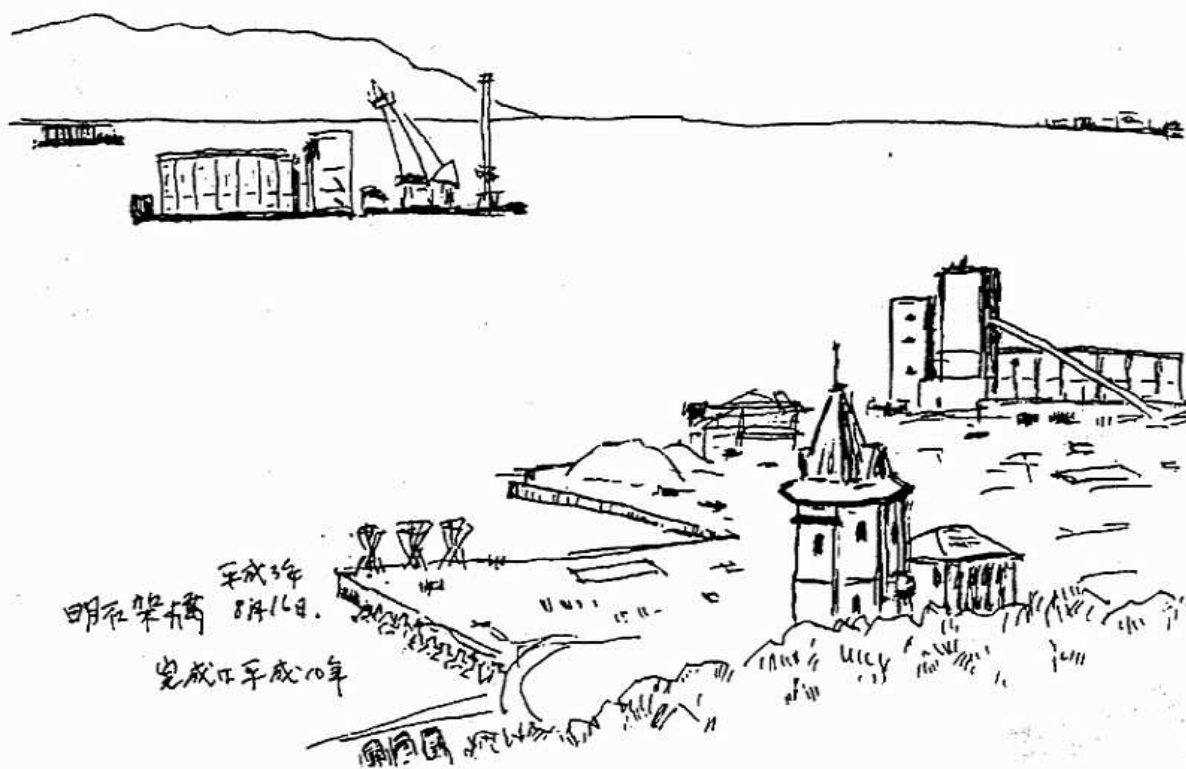
第 15 号

佐保会兵庫県支部事務局

神戸市東灘区魚崎北町4-15-14-707

☎ 658 ☎ 078 - 451 - 0654

立花 紀子



林 利三郎氏画

「国際化時代」に想う

印 部 すゑこ (S3・文)

海外旅行者一千万人時代となり、今夏の海外旅行者は、二百十九万四千人と記されていた。二十五年前に全国教育長・校長(小中高)の代表者で欧州七ヶ国をまわる教育視察旅行に参加した事であったが、当時のことを思い返すと全く感無量。二十五年間の変化と進歩発展、科学技術の進歩や情報の豊かさも加わって、世界も時間的距離で狭く感じられ、地球的規模で対策を考えなければならぬ時代になり、環境問題など共に生きて共に考えねばならぬ時代になってきている。

日本の海外旅行が自由化されたのは、一九六四年海外団体旅行の草分け「ジャルパック」が誕生し海外への夢がふくらんだのが、二十七年前である。当時は年間十万人位の数字であったことを記憶している。今後の十年間に、共生の時代に向かつてどう変わる事だろうか。

さらに内なる国際化を考えてみるとまた、目を見張ることが多い。日々の生活の中で、外国人を見かけることは、もはやめずらしくな

海外への夢がふくらんだのが、二十七年前である。当時は年間十万人位の数字であったことを記憶している。今後の十年間に、共生の時代に向かつてどう変わる事だろうか。

さらに内なる国際化を考えてみるとまた、目を見張ることが多い。日々の生活の中で、外国人を見かけることは、もはやめずらしくな

海外への夢がふくらんだのが、二十七年前である。当時は年間十万人位の数字であったことを記憶している。今後の十年間に、共生の時代に向かつてどう変わる事だろうか。

さらに内なる国際化を考えてみるとまた、目を見張ることが多い。日々の生活の中で、外国人を見かけることは、もはやめずらしくな

海外への夢がふくらんだのが、二十七年前である。当時は年間十万人位の数字であったことを記憶している。今後の十年間に、共生の時代に向かつてどう変わる事だろうか。

幸にも「共に生きる豊かな国際社会を創る」を目標として、兵庫

世界は千里でひとつになる

笹原 順子 (S32・文史)

「千里国際学園」、これが四月からの新しい職場の名です。

箕面市小野原にこの四月開校したばかりなのでご存知ない方が殆どだと思います。いろいろユニークな教育内容を持っておりまして、今回はこの学園をご紹介します。

昭和六十二年の臨教審第二次答申において提言された「帰国子女外国人子女、一般の日本人子女が共に学ぶ新国際学校」の趣旨に添って平成元年度には、東京目黒区に「都立国際学校」が発足して

いますが、その関西版として一年遅れて開設されたのが本学園です。

この学園は、キャンパス内に中高一貫教育制の「大阪国際文化中学校」「同高等学校」(略称OIA)と、「大阪インターナショナルスクール」(略称OIS)の三校を融合的に併設しています。

者がいわゆる新国際学校、後者は外国人の子弟だけを対象とする学校で、三才児から十八才までの児童、生徒を含み、今年の九月二日に開校の運びとなりました。さま

ざまの文化的背景の中で育ってきた生徒達は、ここで共に学ぶこと

によって異文化間の共感を体験し、未知の文化への関心が育てられていくことでしょう。そういう中で生徒が各自の個性を自覚し、それが志す進路に向かって自発的に努力するのを手助けするというのが、この学園の理想なのです。

そして一人でも多く、人類と地球のよき未来を築く有為の人物を送り出せたらと期待しています。

その為の教育の特色として特に注目されるのが、国際バカロレアカリキュラムの導入です。これによって大学受験への道が世界に広がります。学校の性格上、カウンセリングケアを充実させて生徒の様々の悩みに対応し、また、柔軟な選考方法による随時編入の制度を採っています。

OIAのカリキュラムについて述べますと、英語、芸術、体育等の授業は英語で行い、学校行事、クラブ活動等をOIA、OIS合同で行う事により日英バイリンガル教育をめざし、生徒の多様な到達

速度に対応すべく、国語、数学、英語については習熟度制の学級編成にしています。外国語は、英語の他に、フランス語、スペイン語、北京語を開講し、また特に日本語科の授業に力を入れる事によって生徒の既得の力を保持しつつ補償

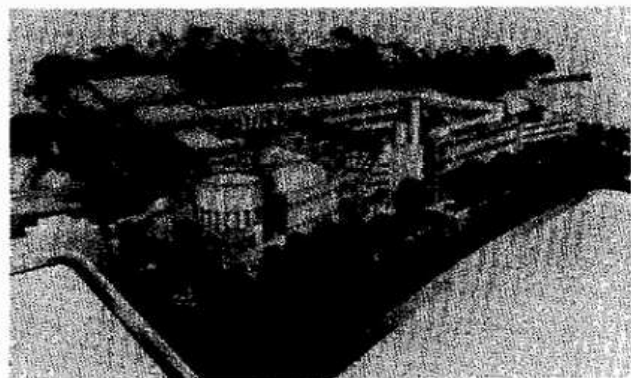
的の他、フランス語、スペイン語、北京語を開講し、また特に日本語科の授業に力を入れる事によって

生徒の既得の力を保持しつつ補償教育的な面に配慮しています。その他日本文化理解、多文化理解をすすめるための科目も用意されています。但し教育内容の範囲は文部省指導要領に準拠したものと

なっています。定員は中一で一般生15名、帰国外国籍生徒20名の計35名、以後一般生の編入はなく、中三で48名となります。高一は、76名でスタートし、高二で85名となります。但し第一年度の今年の中一から高一まで四学年分合わせても120名足らずしかいません。

スクールカレンダーについてみますと、OIAは四月から、OISは九月からスタートし、ともに年四学期、五日制です。OIAだけは別に六月下旬から七月中旬まで四週間のサマープログラム期間を設け、語学研修、自由研究、フィールドトリップ、キャンプ等いつもとは違った学校生活を送ります。その間OISの生徒は夏休みをすごしています。一日の時間割

り、モジュラーシステムを採用しています。これは午前八時半から三時半までの七時間を15分づつ18等分し、その倍数の組み合わせで各自の時間割りを組む方式です。授業はその狙いにより、30分もの45分もの、一時間もの等いろいろあり、全校に共通する休憩時間などはないわけです。それぞれの空き時間は自習や、教師との対話などにあてられます。



県国際交流協会が昨年発足し、(財団法人)民間交流の推進や、国際交流の進展をはかるのみでなく、多くの事業をすすめているがうれしくところ強いことである。(ソゴ新館の二階)

▲上の写真は「千里国際学園」のキャンパスの全景

業は中一、高一の国語を担当しています。担任の生徒は、全員帰国生と外国人子女で、母語は英語、フランス語、中国語などさまざま

な言語にわたっています。制服は勿論、校則というべきものもなく、生徒の自由な行動に際して注意すべきかどうかに迷った

り、内心とまどう事も多い一学期でした。とにかく、ひとりひとりの個性を大切に伸ばす事を常に原則にして、対応しているかと考えています。一番迷うのは、やはり日本の社会への適応のあり方にあるといえましょう。

ひとりひとりのニーズにあった教育を実現するためには、これから多くの試行錯誤や話し合いが重ねられねばならないでしょうが、「世界は千里でひとつになる」という学園の合言葉のもと、今後

も仕事に励んでいきたいと願っています。

武庫川女子大学が、アメリカのワシントン州スポーケンに分校を創設して一年になる。国際化時代に生きる学生達に、落ち着いた環境で生きた英語の力と国際的な感覚を身につけさせたいとの学長の

壮大な意図に基づき、昨年九月以来英米文学科の学生110名(四ヶ月滞在)、短大生2グループ153名と156名(各二ヶ月滞在)が、それぞれ研修を終え本校に戻った。この間習得した単位は勿論必修課目の単位となる。

続いて七月末からは、他学科の学生50名(四週間)が訪れ、八月には教職員20名(四日間)が訪れ、六月来訪の卒業生グループ10名(四日間)と合わせて年間五百数十名が豊かな自然に恵まれたこのキャンパスを利用した。

日本の大学が、アメリカの大学と提携して学生を英語研修に送る例は珍しくないが、本格的に大規模な分校を構えてじっくりと長期の研修をさせるのは、昭和女子大学に次いで日本で二番目と聞く。ではなぜスポーケンなのか? 学長は次の三つの条件を大きな理由として挙げておられる。

1. 治安がよい事、2. 地元の人々の受け入れ態勢がきている事、3. 地元大学の協力。これ

らは不可欠の要素であり、そのいずれを欠いても教育成果の達成・地元とのしなやかな関係づくりはむずかしい。

ワシントン州は兵庫県の姉妹県。シアトル―神戸をはじめ県内八つの都市がワシントン州の八都市と姉妹関係を結び、中でも西宮―スポーケンの親善関係は三十年以上にわたる米市民単位の活発な交流で知られたところである。スポーケン市は、人口18万、ワシントン州の東北部に位置し、緑と水の豊

かな静かなたたずまいと、温かい人情味あふれる都市である。キャンパスは市北西部の丘陵地帯にあり、松や樅の巨木がそびえ立つ九万坪の地に、築後百年に近い煉瓦造りの堂々とした建物が並び美しい環境にある。元・軍の将校の駐屯地、元・カトリック女子大学のキャンパス跡地とあって、国の歴史的景観保存地区にも指定され、学習環境としては誠に申し分ない。

学生はここで英会話・英作文・

アメリカ分校に勤務して

高岡 美知子(S30・文国)

アメリカ研究などの授業を受けるが、放課後や週末には博物館・他大学・小中高校訪問、ミュージカル鑑賞・スキー・乗馬など多彩な課外活動で多様なアメリカ文化にふれる。ポストンなど東部や、

ディズニールランドへの旅行もある。しかし、学生にとって一番印象深いのは、二泊三日のホームステイのようである。ありのままの家庭生活にふれ、家族のそれぞれ

の役割、ものの見方、考え方に接し、自ら日本文化の紹介もして

さまざまな問題を学生にもたす。友人同士支えあっているが、年輩の私の少し離れた立場からのアドバイスもまた別の意味を持つようである。

日本語学習熱も予想以上に高く、昼二つと夜一つ、各々週二回づつの授業は、地元弁護士から中学生まで定員を上回る受講生で熱気にあふれている。外国人向けの日本語指導はテキストも指導法もまだ確立したものがなく、初めての経験でもあるので汗だくである。

日本文化センターは、地元市民への感謝の意を表わし、日本文化を紹介するために昨年十月に開設された。地元への貢献・地元との融和なくしては大学は成り立たないとの学長の意向を受けて設立されたものである。図書・ビデオ・展示・講演・講習・日本語教育・西宮コーナー(西宮市と市民出展)の五つに分かれ、地域への日本文化紹介の窓口になっている。

幼稚園児から大学生・一般市民や職域同好のグループ、老人会、中には隣州アイダホの学校からの見学者もあり、日本に対する認識を深めて下さるのありがたい事である。展示では普通の日本人の生活とその文化、季節感あふれる日本の

年中行事を中心に紹介し、手でふられて理解してもらえらる民芸おもちゃのコーナーも設け、幸い好評を博している。

親と離れ外国に住まうことは、感受性豊かな若い心に多くのものを刻みこむ事になる。外国に驚き、外国を理解しようとする中で、学生達は親のありがたさを知り、家族と社会について考え、日本を見つめなおすのである。

「外国を知ることには日本を知る事です。二つを比較してこそその本来の良さがわかるのです。」私は常々学生にこう言っている。

日本文化センターの民芸オモチャコーナーを楽しむ高校生達



ジャバとバリ

八木 静子 (Sg・文)

湾岸戦争の為一時はお流れ、と思われた今度の旅も、戦争の早期終結で六月下旬決行となった。参加者十八名中約半数が佐保会員及びその関係者で佐保会の旅の感もあつた。

大阪空港に集合するいつもの旅と異なり新神戸駅集合なので外国旅行に出る気がしない。

空港のVIP室で行われる説明会や必要書類の作製は名古屋駅、空港間のバスの中で為され、誠に時間の経過であつた。丁度二十年

前昭和四十六年に初めてインドネシアへ行った時の記憶からガラード航空の機内の待遇に危惧を抱いていたが予想に反し先進国並で安心した。

名古屋から真南に飛ぶと思つていたが経度は15西と見え時差はバリ島で一時間。五時に飛立ち十一時にバリのデンパサル空港に着く。三十分余走って、前後合わせて四泊するヌサドア・ビーチホテルに着く。光に浮かび上がっている所以外は真暗で全体像はつかめ

ないが、南国情緒の溢れる感だけは深く五里霧中さながら案内のまに夫々分かれて部屋に入った。第一日はジャバ島のジョクジャカルタ見学である。昼頃ジョクジャカルタ空港に着き、すぐ街のレストランで昼食。何かにつけて廿年前と比較してしまうのが今度の旅の癖で、変化の激しさに驚く毎日だったがホテルでの食事が夫々一度だけで他は総て街のレストランであつた事がその大変化の一つであつた。

同巧異曲の物だ。四時頃からプランプランと呼ばれるヒンズーの寺を見学する。草茫々の中に石造の塔が林立してうらぶれたようである。何となく潤いの感じられる一種の風情のあつた光景はなく、今は整理された公園風の広場の中に、地震で崩壊した石塊がゴロゴロしている一画と三つの大石造寺院の立つ処とがあり、手入れが行き届いているといえども聞こえはよいがしらじらとした乾いた感じで何の情趣もない。前に来た時は人もなかつたのに今度には日曜でもないのに多くの大人・子供が群がり訪れている。これも民度の向上をしめすものか、写真機一台に付五〇〇ルピー(50円)をとられたがこれは中国で経験したのと同じだ。ヒンズー教の主神の一人シバ神の寺塔へ上る。照明はなく真暗。持参の懐中電燈の活用は今だとバッグを手探りしたが気が急ぐ故か仲々取り出せない。凡その見当でフラッシュを押して撮影。

あつたレストラン風の食堂は七階に上り豪華な感じを与えるディナールームとなり、食事もフランス料理のフルコース。ボーイも西欧風のスタイルでサービスも行き届いていて、インドネシアにいる事を忘れさせるに十分。夜の観光(影絵見物)まで時間があるのでベランダから暮れなずむジョクジャカルタの街を眺めた。洋風の建物が増したといつてもこの高層のホテルから見渡すと視野を妨げるものはなくまだまだ緑が多く自然の中の町の感を失っていないのがうれしかった。

九時からの影絵見物はホテルのボロブドールの仏教遺跡。前、道路を横切った処にある掛小屋のような所であつた。ガメラ音楽の奏者が数人、影絵の演者は一人で人間動物等数多くの登場人物を操ってみせる。日本語の解説文を薄暗い光の中で見乍らの見物だがラーマヤーナの筋だけは辿れた。影絵だから黒一色と思つたのに薄い色彩が見られた様に思つたのは眼の錯覚だったのだろうか。

朝の涼しい間にとて翌朝は九時出発、ボロブドールに向かう。ボロブドールは八・九世紀に中部ジャバに栄えた仏教国シャイレンドラ王朝の残した仏教遺跡で、カンボジアのアンコールワットと共に世界三大仏教遺跡の一つである。廿年前には首の落ちた仏像や横倒しになった像等が周囲に散乱し、本体の大仏塔も積石の間の隙間が各所に見られ正に崩壊寸前の危機感があつたが、その後ユネスコの全面援助(日本も多額の拠金をした)で完全に修復され今はまるでまっさらの仏塔の様に美しい姿を見せている。ジャングルに埋もれていて再発見されたとの謂を合点させる光景は完全に払拭され、森林を切り開かれ点在していた田は埋められ数軒あつた農家も消えて周囲数軒の範囲は一大公園



写真：ボロブドールの仏教遺跡

に整備されている。ころがついてい
た仏像も石塊も総て塔の構築に組
込まれ、横ずれしていたレリーフ
は全部元の位置にもどされて釈迦
一代記を始め数々の仏教説話を表
現するレリーフは完全に復元され
ている。(詳細に見ると補充に適
した石がなく代理の石が入ってい
る所があちこちに見える)。今日
は日曜の故か凄しい人出で塔の最上
層も七つの小仏塔の間の平地は人

で埋まっている。(ここはイスラ
ム国だが日曜は休とか)
今日も快晴、ジョクジャカルタ
市の北に立つ富士山そっくりのメ
ラビ山はその美しい姿をくつきり
と見せて静かに煙をたなびかせて
いる。

この日の内にバリ島に引き返し、
廿四、五の両日はバリ島観光。曾
ては原始的なたたずまいをみせ原
初的な雰囲気を発散していた各地

「国際学科を訪ねて」

山形 泰子(S45・文英)

日々刻々と世界情勢が変化し、
多様化する現代では、広い国際的
視野や豊かな国際感覚がますます
必要とされています。「地球人」、
「地球村」、「グローバル」などの
ことばもよく耳なじみ、21世紀
に向けてさらに国際理解を深める
ことが私たちの重要な課題でもあ
りましょう。

そういふ状況に対応し、高校教
育の現場においても「国際文化
科」という特色ある学科が創設さ
れていると聞きました。

今にも降りだしそうな梅雨空の
もと、私たちはここ、兵庫県立芦
屋南高等学校を訪れました。芦屋

の名勝、寺院もすっかり観光化さ
れてしまっている。が一般庶民の
中になお昔ながらの習俗(土地の
神・先祖の霊への毎朝の供膳やま
じないをこめていると思われる薬
や草で作った門前の飾等)が変わ
らず続けられていることがわずか
の救いであった。

ラーマヤーナ物語を内容とする
呼物のパロンダンスやケチャと呼
ばれる群像の動きの素晴らしさで

格は海外に一年以上在住し帰国後
三年以内の者とされ、47名定員の
うち10名前後の帰国子女が学んで
います。

入学検査は推薦制で、学区は全
県にわたり、阪神間から通学する
生徒が多い中、加古川、和田山な
ど遠方からも通っているそうです。

一般生徒と帰国子女との相互啓
発を通して、国際社会に通用する
人間の育成をめざしているという
ことです。特に語学教育を重視し、
そのための専門教育を行っている
というお話でしたが、どんなユ
ニークな授業があるのでしょうか。

まず驚いたことは、習熟度別に
指導され、20数名のグループで授
業が行われていることでした。そ
の上、当時二名の外人教師が配置

大きな評価を得ている野外劇も以
前のように野外の広場(空地)で
行われるのではなく簡単な舞
台をもった劇場で前者は朝、後者
は夜に毎日一回ずつ演じられるよ
うに企画化されてしまっている。
そのように人為化されても、ケ
チャのもつダイナミックな迫力が
少しも衰えずに見る者の胸をうっ
たのは有難いことであった。聖な
泉と呼ばれるタンパクシリンヤ

象の洞窟という古代僧の修行場等
にインドでみるヒンズーと一味
違った如何にもバリ化したヒン
ズーらしさが一種のおどろおどろ
しさを伴って残っていたのには、
やはり古代的な土俗信仰が残って
いるバリ島なればこそその感を深
めた。

一つはキンタマーニという二重
火山のパツール山。阿蘇の広大無
辺といたいたいような大きさに比べ
てこれは外輪山(尾根は自動車道
として開発)火口原(ヒンズー伝
来以前の習俗を守る二つの部落が
ある)美しい水を湛えた火口原湖、
煙は出さない中央火山(休火山)
すべてコンパクトにまとまってい
て二重火山の典型を見る思いだ。

他の一つは海岸。ゆるく湾曲し
た海岸線と広い砂浜。遙かの沖に
白波を立てているリーフ、波打ち
際からリーフまでの広い遠浅の海、
ここには文明の手の加わらない自
然がそのままに広がっている。砂
浜とホテル群との境界線にはビー
チチェアが並び、カヤ舟の四阿屋
が一列に並んでいるのが自然の景
観を引き立てはしても傷つける物
ではないのがうれしかった。

(一) 設立

当初は、普通科と共に、一学級
が「国際文化コース」として、帰
国子女対象に設置されていました
が、昭和58年度、「国際文化科」
として学科に昇格しました。そし
て他校の「音楽科」「美術科」な
どと共に受け入れ対象を県内一般
生徒に広げました。帰国子女の資

(二) 専門科目

英語検定取得へのとりくみも熱

心で二年時で60%、卒業時には80%の人が二級の資格をとり、帰国子女は勿論のこと、一般生徒の中にも準一級を取得する人が、毎年数名いるそうです。

(三) 相互啓蒙

在学中に留学する人も多く、アメリカやオーストラリアなどに、毎年三〜四名が留学するということでした。

※L (Language Laboratory)
外国語を話したり聞いたりする

訓練のための装置を備えた教室

墮ちなかつた大和撫子

津野 貞子 (S・S・家)

昔墮ちた偶像という洋画があつて、何回か見に行った。私は満州で終戦を迎え、引揚げも出来ないまま彼地に一年間在留した。その間ソ連兵が日本婦人に加えた暴行を見聞きした。女性が身を守るために何が出来たか、毛髪を切つて男装する、薬を手離さない。こんな消極的なことでは身を守ることには到底不可能であつた。父母、隣人、現職の方々の守護も敗戦国というレッテルの下では何の足しにもならない。最後は死であつた。大和撫子は死を以て墮ちることを防いだ。今新聞、週刊誌を開いて

訓練のための装置を備えた教室

のようです。異なつた環境で培われてきた良いものを互いに認めあい高めあつていくことはとても貴重であると思います。

目的意識をもつた生徒達の学習態度は意欲的で、卒業後の進路も、おおむね希望の入学を果たし難関といわれている大学への合格も多

いということでした。

この学科で学び、専門的な知力、技能を身につけて果立つていった

については真剣に考えなければならぬ。アメリカで製作された「キャンパスのレイプ」のビデオをみて語り合う

「性暴力を許さない女の会」というのが大阪で開かれたとか。

もつと私達も声を大にして女の身を守ることを考えるべきであろう。

次に掲げたやまとなでしこの一部は私が新京で直接見聞きしたことである。

死ぬことが解決ではない。賢い解決法を考えてみたい。私は卒業後終戦迄殆ど海外で教鞭をとつて

いた。女学生の外交戦士という誇りを持ち国際感覚の要請に特に気を配り、服装を正しくすることは

身を守ることに励行させた。

今服装の乱れ、TPOを考えないところにも問題があるのではないか。

学校も開校されないままだし、引き取つた生徒達と共に生活の道

を考えなければならぬ。満州は例年なら十月半迄には、冬將軍を迎える準備が完了している筈である。既に十月も終わろうとして

るのに運動靴をもつて逃げ廻り、坊主頭になつてかくれていては、今度は冬將軍にやられてしまう。暖房もままならないだろう。先ず着る物の準備をしようとして立屋を始めた。私が洋服をしていると聞いた生徒達が教えてほしいと一人又一人と訪ねて来た。授業料なし。客の注文によつて教材が決まるといふ仕組み、十人近い人数になつた。仕事をしながらの話題は級友の消息であつた。「先生、毎日のように丸山公園に着いている藤部隊の中に舎生がいたそうです」そ



れから丸山公園に藤部隊が着いたといえはとんで行つて舎生を探した。或日生徒が「先生〇〇さんね亡くなったそうです」「どうして? 病氣?」「いいえ、ソ連兵が侵入し御両親の前で暴行しようとし、お母さんが薬をのみなさいといわれ、その場で胃酸カカリをのんだそうです、妹さんも一緒に」

返す言葉もなかつた。私達が受けた教育は確かにこんな厳しさがあつた。辱しめを受ければ死に値する。それが大和撫子である。その頃日僑本部から、もし暴行されたら直ちに病院へ行つて処置して貰え、そのことで死んだりするこ

とはやめよ。狂犬に噛まれた傷と同じである、という回覧が届いた。

私はそれから何日後〇〇さんの家を訪ねた。庭に二本の真新しい白木の墓標が立っていた。どんなに辛かつたらう。御両親にとつても眼前の娘の死、親が娘に死ぬといふ。親子共々死ぬのよりさらにさらに辛い思いであつたらう。

更に数日後訪ねて来た件の生徒、「先生この前私がね、応接間で一人て本を読んでいたらソ連兵がぬうつと入つて来たんですよ」

「まあ、それでどうしたの?」

「私びっくりしたけれど、ポケットから薬包紙に包んだ薬を取り出

しぐつと呑み込み、喉をかきむしる様にバツタリ倒れてみせた。ソ連兵ビククリしてとんで出て行ったんです。ソ連兵がとび出した時母が之亦驚いて応接室へ駆け込んで来て、私をみるなり抱き起こししつかりするんだよ、とおいい泣き出したの、私ゆっくり立ち上がった母は眼を白黒、それで私あんな奴の為に死ぬものですか。死なないようにしてあるの。」

「貴女何をのんだの？」私のせき込むように聞く言葉をおさえて「先生薬包紙の中は白砂糖、私がおね、この薬包紙をゆっくり開けて水も飲まずに口の中に放り込んで倒れた時ソ連兵がソツと私の胸に手を置いたので息を止めていたらあわてて逃げて行った。面白かった」と破顔一笑。

「馬鹿ね、面白かったなんて、逃げてくれたからよかったですもの、そのまま居座ってさわっていたらどうする積もりだったの？ そんな冒険するより逃げなさいよ」

「母にもそう云われました」大和撫子の考えもだんだん変わって柔軟性をもって来た。

生きる事、生きようよ、日本に帰るまでは死ねないよ。先ず生きること考えよう。

戦争に敗けることの悲惨さ、情

けなさ、一等国民と威張っていた空しさ、そんなものが突き上げて来る。子供が泣くと女がいると分かります。ソ連兵が女を出せといつてく。子供の泣くのを止めるために口をおさえて窒息死、走る無蓋車からおしっこをさせる恰好に抱えてポンと落とす。その時の赤坊の泣き声が耳の底にやきついて気が

「兵庫県立新宮高校訪問記」 介護・看護の人材不足の中で

東 卓子 (S30・文国)

梅雨の晴れ間の一日、平成二年度に福祉科が創設された新宮高校を、曾谷、竹田、東の三人で訪問しました。

近年とみに高齢者があえ従って要介護者が増すばかりの現状では、「介護福祉」は切実な問題です。その「介護福祉士国家試験受験有資格者」を育てる高校が兵庫県下に一校だけあり、それが新宮高校です。校区は全県で、勿論女子のみです。

他に、家政科、衛生看護科があります。もっとも今迄も家政科の中に一クラス福祉コースはありましたが、それでは限界を感じて独立して福祉科を創設されたそう

狂ったお母さん。汽車を停車させ、駅頭に女といえ五、六才の子供から六十、七十の婆さん迄並べて暴行を加える。五、六才の女児の会陰が切れて泣く声がまるで地獄の底から聞こえてくるようであった。

今年の支部総会の時のお話を載せておきました。

福祉科を卒業するには、一般教養の授業数は、普通高校より少ないのですが、例えば一・二年生を通じて「看護基礎医学」、二・三年生を通じて「社会福祉演習」三年生では「老人介護」などがあり、更に、二年生で二週間、三年生で四週間の実習があります。

その結果「介護福祉士」の国家試験の受験有資格者になれるわけ

ちなみに平成二年度は、家政科の中の福祉コースの卒業生45名全員が受験し3名合格、同じく平成三年度は6名合格という事でした。不合格者も「受験有資格者」な



◀特浴槽での試運転

のですから、老人ホーム等に勤めつつ次の年に受験出来るわけですが、そのまま受験せず勤めている人も多いそうです。

「介護福祉士」の国家試験を国が実施しましたのも昭和63年からであり、今はまだ搖籃期で、試験官も、受験有資格者を育成する側も手探りの状態であるという事でした。

なお衛生看護科につきましては、卒業と同時に「準看護婦」の資格が取得出来ますので、そのまま勤入浴実習

める人もあれば「看護短期大学」「大学看護科」「看護養成所」等にすすみ正看護婦をめざす人もあるという事でした。

高齢者など要介護者の増加に比例して、「介護福祉士」「看護婦」の数も増えてゆけば有難い事ですが、心身共に負担の重い仕事ですから、それを志す人の少ない中で「介護福祉士」「看護婦」を目指して頑張っている若い人達が一校で400人余りになるという事は頼もしい限りです。その若い芽のすくすくと伸びてゆく事を、そして、その若い芽を一所懸命伸ばそうと努力していらつしやる先生方のますますの御活躍を祈らずにはいられませんでした。

なお生徒側の実習についての声を少し入れておきますと、「友達同志だと照れて上手に出来ない事もあります、本当のお年寄りが相手なら大丈夫です。一番大切なのはお年寄りに接するときの心ですから。」(平成3年4月26日神戸新聞より引用)という事です。

「年々歳々人は老い、歳々年々若木は育つ」当然の事ながら老いの坂にさしかかっております私は複雑な思いで、揖保の川面をわたるさわやかな風の中を帰路につき

命華やぐ



人生八十年時代といわれており
ます現在、高齢者の生活を健やかに
より充実したものにしたいという
ことはだれもの願いだと思えます。

その後須磨寺正覚院に嫁し在家
からの私にはすっかり新しい毎日
朝夕み佛を拜みお仕えし只感謝の
日々でございます。

折しも我国は昭和十六年太平洋
戦争に突入。主人はその頃病に倒
れ物資の不自由の中も必死に看護
に尽くしましたが遂に永遠の別れ
となりました。

その後いとけなき子供四人と私
はただみ佛にお縋りしお祈りし慣
れない私ながら一心に勤行に励ん
で参りました。お蔭様で子供四人
とも一家をなし私は今春引退し長
男が晋山式を行いほっとしており
ます。目下余暇を磯江先生に短歌
を師事し覚束なくも勤しみ明るく
感謝して過ごしております。

昭和六年に奈良女高師家事科を
卒業致しまして、早や六十年の月
日が経ちました。

卒業して直ぐ朝鮮大邱高女に赴
任、大先輩広内敏先生に一年八ヶ
月の間一方ならぬお世話になりま
した。続いて女学校時代の恩師高
木校長様にむかえられ愛知県一宮
高女に六年楽しく勤めさせて頂き
ました。

以後辺地の無名の百姓の生きざ
まを追求して、レポートは五篇で
きました。もう終わります。

かねて仏教に憧れていましたの
で、加藤さんからヨーガに誘われ
たときすぐに入ったのは、七・八
年前だったでしょうか。釈尊のみ
教えには近づいたようでありませ
んが、老人の体操として、毎火曜
日にはつとめて通っています。

頭のお働きがぶくなくなったよう
にからだの芯も老衰してきます。

気管支拡張、進んで肺気腫。老
化現象だから、死ぬまでよくなる
ことはありません。とお医者には
宣告されています。願わくば点
滴・輸血・手術などしないで、
あっさり片付きたいものだと思っ
ております。

「前向きに」
上田ユクエ（昭和4・文）
娘夫婦に孫二人の家族と一つ家
に同居して、せめて「家において出
来る事を」と、五人の賄方を買っ
て出たおさんどんばあさん、市場
通いをはじめ一日中チョコカカ動
きまわっているもの。とめたつ
もり、つけたつもり、なのにお
風呂の湯が沸き返っていたり、夕
食の卓に皆がついたトタン「アレ
ッご飯のガス忘れてたッ」等にバ

ソかいてるバアさんに、83となっ
た今年一月、松山にいるボーイフ
レンドから「古いこまない秘訣を
小母様に」と贈られてきたことば
1. 自分の年を意識しないこと
2. くよくよしない
3. 友達をたくさん作ること
4. 若さを求め 維持してゆく
ために 何かを……
5. おしゃれ カラフルに
「ホンにそうやーくよくよせんと
前向きにゆかなくっちゃ」心機
一転元気づいてるこの頃でござい
ます。

「英会話もまた楽し」
柳 和子（昭和11・家）
お蔭様で喜寿という有りがたい
年を迎えさせていただきました。
脳血栓を患って二十年余り、家族
をはじめ、私をとりまく多くの
方々のご理解とお世話をいただき
毎日を幸せに暮らさせていただい
ております。左手左脚が不自由と
申しまして右手で字を書きお箸
を持ち、軽いものなら片手で物を
持つ事が出来、平坦な処ならばほ
つぽつ歩き、畑の草をひいたり鶏
や亀や犬の餌やりをいたします。
鶏糞や堆肥で育てた家庭菜園の野
菜と玄米ご飯と、ちりめんじゃこ
等で、毎日三度の食事をおいしく
いただいております。ほけ防止に
なるとかで、畑のあちこちに生え
ているどくだみを陰干しにして煎
じて毎日お茶代わりにのんでおり
ます。尚毎朝、洗濯機で主人と私
の衣類を洗う事が出来るのも文明
の利器のおかげです。余暇利用と
申しますか、老化を防ぐために六
十才以上のじいさんばあさんの英
会話教室の一生徒にさせてもらっ
ております。しかしこればかりは
どんなにがんばっても頭が言う事
をさかす入るより出ていく方が多
いようでございます。それも同年
輩の集りという気安さで恥も外聞

「戦中・戦後、そして……」
日下初子（大15・文）
せっかく師範教育を受けたのに
少女達とも楽しかったのに、おち
こばれました。

戦乱の時代も通り、やっと子女
四人が育ち、四十三年夫は他界。

「み佛と共に」
三浦智春（昭6・家）

「歌詠」海流より
笹倉道枝（昭9・文）
何故ともなく心にかかり離れない
献体にふみ切るといふ友の便りの
とりとめもなく暮らす月日の早く
して梅雨もあけたり土用の暑さ
歌のない日々の空しさせめて一つ
描きとどめよ庭の花々
日課をばついにこなせず夜半とな
り瞬たく星と瞬たかぬ星
花々を庭に並べてうつつなく余生
楽しやパンジー笑う

もなく大声で笑いながら二時間のレッスンを楽しく終わってしまいます。いつまで続きますやら。私が最年長でございます。この四月から昭和二十三年度卒の中島(簡井)倭文子様が新人生となられて一層教室が明るくなりました。

「卒寿」

箕浦千代子(大11・文)

平成三年八月十九日の朝刊に「日本は長寿世界一の座」、女は八一・八一。男は七五・八六歳

五の四の会 高林 幸子(S33・文英)

五月二十六日、急に夏めいた太陽の照りつける日、淡路島を臨む海岸にある舞子ビラへ「第二回五の四の会」に出席するため出かけました。

奈良女高師以来の寮は、一寮から五寮までの棟があり、それぞれに「舎」という単位に分かれ、舎単位で一軒の家庭のような構造になっていました。そこには、四回生から一回生まで種々な専攻の人が共に暮らしていました。私が最初に入りました部屋は、十八畳で六人のうち二人が新入生でした。三回生一人と、二回生二人が上級生でした。新入生はコーナリー

と大きな文字で記載されていました。私は明治三十四年生れで平均年齢を遙かに越えました。奈良女高師の大正十一年文科卒で、昨年度家族の者や各方面の友人から卒寿を祝って戴き感謝感激をしております。元気な私は今年の晩春の頃より腰痛で只今明石市朝霧病院むつみ荘(老人保健施設)に入り、リハビリや其他の治療をうけてほとんどよくなりました。リハビリの一環として各種趣味の活動の外、季節に応じた行事を通じ明るい楽

机を置く事は出来ず、上級生の間に置いていました。上級生の誰かが雨戸に手をかけると、途端に皆が出ていき、一斉に雨戸がたたられました。創立以来の木造の建物はかなり痛んではいましたけれど、隅々まできれいに拭きあげられていました。障子の外の廊下にはガラス戸が庭に面していて、誰かが帰ってくると、ドン／＼ピン／＼と、床を踏む音とガラスに響く音がその主を教えてくれました。食事は、私が入りました昭和二十九年頃は、全員の分を調理場で作って、各舎用のアルミの容器に人数分入れて置いてあり、当番の

しい雰囲気の中にしたたり長い廊下を適宜に歩き運動もしております。私は幼児より歌を唄うことが大好きで今も唄っています。俳句も奈良卒業後から始め今も駄句をつくって居ます。古代史の研究演劇鑑賞等、何でも知識をとり入れたいのです。食事は何でも好きで家族の者と常識的に栄養カロリーを考え、至って元気にやっています。曾孫十一人で「おおばあちゃん」と呼ぶ声は私には宝物です。

人がそれをとってきて、各舎の食堂でとりわけました。私の最初の当番の朝は、おみおつけ・煮豆・お漬物でした。当番は部屋の新入生二人ですが、わが親友である相棒は運悪く朝に弱い人で、当日起こしても起きてくれません。大声を出して同室の上級生を目覚めさせてはと、覚悟をきめて一人でしました。困ったのは煮豆。あくまできちんと分けなくてはと赤い粒を一つ／＼数えて、十六人分のお皿にのせました。でも、当時、奈良女子大の献立は評判でした。家政科の人達が考え、安価で、おいしく、栄養価の高いものですから

京大、阪大、大阪市大の寮自治会が見学に来て大いに羨ましがられたものです。これは、私が涉外係

になった時、これらの大学と種々の物を共同購入するという知恵に つながって行きました。一ヶ月千八百円の寮費で、すべてが賄われていたのですから裏方も大変だったと思います。ちなみに一ヶ月の学費が五百円、育英会奨学金が三千円でした。舎の中で部屋がえは

ありました。同室になると姉妹のように親しくなり、誰かのデーの日ともなれば、服、帽子、バッグと持ち寄ってロマンスの成り行きに一喜一憂したものです。なお第一回「五の四の会」は昨年、長野県安曇野で開かれております。

第二回目の今年は三十六名が出席し、そのうち十七名が泊まりました。出席最年長者は、昭和四年卒の小川さんで、当時の入学は各府県知事の推選だったので、入学式では、それぞれが「〇〇県知事推挙 〇〇」と名前を読みあげられたという事です。兵庫県にお住まいの菊沢さんが最初の入試組で、入試の当日に大正天皇がおなくなりになり本当な中止のところ、全国から集まっているからという事で、東方を遙拝してから入試が始まったそうです。一年下の保仙さんになりますと、昭和天皇の即位の際、寮生は

午前三時に紋付羽織袴で近鉄の駅に集合し、神武天皇の御陵に参拝される天皇をお迎えしたそうです。が、まず駅で身体検査をされて驚いてしまったとか。それから近鉄で御陵へ行き、御馬車の通りから田一つ隔てた畦道に正座してお待ちしたという事でした。

次に昭和十七年卒の伊藤さんのお話をお聞きして、敗戦までは女性に閉ざされていた殆どの大学の門を女性が開く事がいかに大変だったかという事を痛感しました。また戦時中は男性の教員が不足していた、特に理系の教師は補充が出来ない状態のため、義務年限が終わっても研究室に戻れずに困られたそうです。

今、当然の事として、無意識に享受しています事の一つ一つにも、先人の大変な苦労があったのだとつくづく思いました。終戦後の寮は、「びっくりしたの何のって、畳は敷いてあるけれど畳表がなくて中身だけ。大変な所に来たと思えました。」「御免なさい。それは、きつと私達のせいです。舞鶴の工場へ動員の後、戦後は一挙に解放感が訪れて、毎晩部屋で社交ダンスの練習をしましたから、きつと擦り減ってしまったのでしよう。」「一同身をよじつ

て大笑い。本当に楽しい集いでした。

同じ部屋で、様々な学生生活が営まれ、顔を合わせた事もない人々が、時代に押し流されながらも今から思いますと、将来への限りない希望や、不安を胸に青春の一時期を精一杯生きていたのですね。

垂水散歩

森川貞枝
(S35・家住)

ジェームス山と外人住宅街

垂水区役所発行

「垂水史跡めぐり」より

長い間の鎖国が解かれ、神戸港が貿易港の一つとして開港されてより、神戸には多くの外国人がやって来て住みつきました。北野辺の異人館はあまりにも有名ですが、その中で英国人たちは眺めのすばらしい塩屋の海辺に沿って住まいを造りました。

そのひとり、ジェームス氏が昭

和七年頃、日本人の住んでいない塩屋の山を開発し、英国人専用の貸住宅を建てた事から「ジェームス山」と呼ばれるようになったのです。ジェームス山の入口にはヨーロッパの都市のあちこちで、よく見かけるライオンの石像が、やはりどつしりと飾られていて、そこが異国人街であることを認識させてくれます。

ジェームス氏亡き後、三洋電機故井植社長が買い取り、現在も当時から五十軒の貸家は外国人専用ですが、英国のみならず、約十ヶ国の人々が住んでいるようです。



かきつばたと多聞寺

地名にもなっている「多聞寺」

は、平安時代の初め、慈覚大師（最澄の弟子）によって開基されたとう言う伝説がありますが、ここに安置されている阿彌陀如来座像や、日光、月光の二菩薩は、いずれも十世紀藤原時代の作で、重要文化財に指定されています。ここに日光、月光両菩薩のお顔の美

しさは格別で、離れがたい思いがします。

又、一月五日には「追儺式」といって、面をつけ体に藤づるを巻きつけた鬼達がたいまつや、おのを持ち太鼓やホラ貝にあわせて踊る「鬼追い」の行事があります。今ひとつの見どころに境内のかきつばたがあります。江戸時代の本にも出ているそうですし、「こ

うべ花の名所50選」の一つにも、えらばれています。花の咲く時期に蛇目傘でたたずんでみたいところです。

夕日の移情閣

松林の美しい舞子公園と国道を

はさんで海際に建っている「舞子六角堂」はもともと、大正初め、貿易商の呉錦堂が別荘として建てたのですが、中国の偉大な革命家孫文が立ち寄ったのを記念して建て直したものです。本当は正八角形ですが、どこから見ても、六角形に見えるので、その名がついたようです。又、八方の窓から見える景色の趣きが、それぞれ異なることから別名「移情閣」とも呼ばれています。ここからの夕方の眺めはすばらしく、ことに海を真赤に染めながら水平線に沈んでゆく夕日、その

夕日の名残りの中で、くつきりと浮かび上がる「移情閣」のシルエット……ロマンチックです。

しかしその情景も、まもなく見られなくなるでしょう。明石大橋の建設に伴い、舞子海岸の景観も一日と変化していき、移情閣も近い将来、移動する予定です。その前に是非、夕日をご覧下さい。

明石海峡をみはる五色塚古墳

垂水と舞子の中程、海岸を走る

国道のすぐ山側にある五色塚古墳は、県下最大、全国三十位の大型前方後円墳です。昭和四十年から十年かがりて神戸市が復元したのですが、巨大古墳復元としては、全国唯一のものだそうです。もともとは四、五世紀にかけて造られたもので、日本書紀には仲哀天皇の二七塚とありますが、明石の国を治めていた大王が明石海峡を通る船団への威圧のために、この場所に築いたのでしょう。この海峽を、どれだけの歴史が通りすぎていったことか……

前方に腰をおろし、のんびりとゆきかう舟を眺めたり、時々に変化してゆく波の色をみつめていまして、ついつい時を忘れ、いつしか古代へとタイムスリップさせてくれる、そんなところです。



- (註)
- ①ジェームス山
 - ②垂水漁港
 - ③五色塚古墳
 - ④移情閣(孫文)
 - ⑤大歳山古墳
 - ⑥多聞寺
 - ⑦太山寺(妙)



◀写真は五色塚古墳

平成2年度 会計報告

(H2.4.1~H3.3.31)

平成3年度 会計予算

(H3.4.1~H4.3.31)

収入の部			支出の部		
費目	予算	決算	費目	予算	決算
前年度繰越	1,905,191	1,905,191	本部会費	650,000	652,000
会費	1,300,000	1,358,400	総会費	50,000	18,690
内 本部会費	650,000	652,000	通信印刷費	200,000	137,241
訳 支部会費	650,000	706,400	旅費	60,000	16,940
預金利息	10,000	21,082	支部だより印刷費	170,000	155,005
本部より補助	0	43,740	慶弔費	70,000	15,742
寄付	0	1,100	事務費	80,000	80,247
			予備費	10,000	5,000
			小計	1,290,000	1,080,865
			次年度繰越	1,925,191	2,248,648
合計	3,215,191	3,329,513	合計	3,215,191	3,329,513

別途会計 友愛金庫(定額貯金) 600,000円 (郵便貯金) 28,419円

収入の部		支出の部	
費目	予算	費目	予算
前年度繰越	2,248,648	本部会費	650,000
会費	1,300,000	総会費	50,000
内 本部会費	650,000	通信印刷費	200,000
訳 支部会費	650,000	旅費	60,000
預金利息	190,000	支部だより印刷費	170,000
本部より補助	0	名簿印刷費	350,000
寄付	0	慶弔費	70,000
		事務費	80,000
		予備費	10,000
		小計	1,640,000
		次年度繰越	2,098,648
合計	3,738,648	合計	3,738,648

「垂水漁港とイカナゴのくぎだき」
寒が去り、やっと水がぬるみ始めた二月の末頃、瀬戸内一帯にイカナゴ漁がはじまります。出はじめめのは小さく、炊き方も少しむつかしいのですが味は一番です。三月から四月にかけて新子(その年に生まれたイカナゴ)もだん／＼大きくなり、値も下がり、垂水の家々ではイカナゴのくぎだき作りが盛んになって来ます。道行く人にもそれとわかる位あちこちからイカナゴを炊く匂いがただよって来ます。まさに春の風物詩です。行きつけの魚屋さんは、垂水漁港から揚がるイカナゴは日本一だと言っていました。

垂水漁港は、JR垂水駅南徒歩五分のところであり、毎月の第一、三の水曜日は、ここで水揚げ、加工された水産物を、海神社朱の鳥居前の神戸市漁協の直販所の横で奉仕販売しています。(一三三〇一五・三〇) 平素は、この水揚げされた水産物は競りにかけられ、垂水の昼網として魚屋さんの店頭と並びます。一方、加工された水産物(のり、チリメンジャコ等)は、直販所で毎日販売されています。品質がよく市価より安いので利用客も多く、中元の季節には、宅配便依頼の荷物が山と積まれていました。

あさぎりむつみ荘
箕浦様に原稿をお願いするためむつみ荘をお訪ねしましたのはお盆の十四日でした。
同室の方は外泊中で「一人になったのでたまっている原稿をかいたり、本を読んだりしようと思っているの。家へ帰るとまた何かのひょうしで腰が痛くなってもいけないのでここで頑張っているよ」と、とても弾んだ声で、ご無理なことをお願いに伺った私を喜んで迎えて下さいました。
昼食の放送をしておに失礼しましたが、帰りにちらと目にしましたお膳には、おいしそうなすいかがお皿に入っているのを見てしまいました。他のおかずは見えませんがそのすいかの切り方や大きさから何かしらとても温かいものを感じ、「ああ、ここのお食事はいいだろうな」とおもいました。
むつみ荘はあさぎり病院の裏手に建てられ、廊下でつながっています。大へん明るい建物で、いままでの老人施設への考えを一新させるものがありました。
入所出来る人六十五才以上の看護を必要とする人、長期でなく、一応三ヶ月〜六ヶ月がめやす。経費 本人負担は月額五万円。詳しくは、

あさぎり病院へ
〒673 明石市朝霧台一三二〇一
TEL〇七八一九三二七五七五 (竹田)

表紙絵について
林 利三郎
十六日にやっと明石架橋のスケッチに行きました。その前に岩屋に渡ったのですが、工事現場三つを入れて描くことができず、舞子ピラ八階から描きました。この風景だと、去年とどれだけ違っているか、来年とどれだけ違っているか、何しろ十何年がかりの大きな工事です。

御協力をお願い
三頁の「アメリカ分校に勤務して」の中の「日本文化センター」の趣旨に御賛同下さいましたら、日本の伝統的なもの、例えば扇子・下駄・風呂敷・祭の法被・民芸玩具・日本人形・俳画等御寄附下さればと願っております。宛先は、
〒683 西宮市池開町六の四六
武庫川女子大学国際交流室
(TEL〇七九八四四七一一)
高岡美智子です。

事務局だより

- ◇行事(平成2・10(3・9))
- ・本部会報、支部だより第14号
- ・發送(平成2・11)
- ・新年会 於竹葉亭(平成3・1・7)

- ・平成二年度佐保婦人学級閉講(平成3・2・26)
- ・平成三年度佐保婦人学級開講(平成3・4・15)
- ・支部総会・議事・記念品贈呈(平成3・5・26) 東急インにて新入会員1名、出席71名

平成3年度 佐保婦人学級

- ◆とき 下記の月曜日又は火曜日13時~15時
- ◆ところ 勤労会館及び下記の場所
- ◆会費 年間 3,000円 当日 500円

年間予定

月・日・曜日	内容	講師	会場
4・15・月	開講式・日常の食生活	津野先生	三井信託銀行
4・23・火	国際情勢について(湾岸・バルト問題)	京都仏教大学教授 高屋定国先生	勤労会館(三宮)
5・28・火	相続について		〃
6・10・月	昨今の人間関係	松浪先生	兵庫銀行
6・25・火	ピースワーク	安達先生	勤労会館(三宮)
7・9・火	〃	安達先生	〃
9・17・火	日常の食生活	津野先生	〃
10・8・火	いも掘り		
10・21・月	お茶	吉井先生	
11・25・月	試食会		
1・20・月	組み組	小田先生	三井信託銀行
2・25・火	閉講式・折り紙	吉井先生	勤労会館(三宮)

・睦会(平成2・10・20)サンメ
ンパース神戸エクセレントクラ
ブにて出席者43名

佐保婦人学級へのお誘い

仲間作りの輪を広げ、より心豊
かな毎日をと津野支部長を中心に
毎年検討を重ねつつ、この学級も
九年目を迎えるようになりました。
室内での学習だけでなく、いも掘
りなど戸外で秋の一日を楽しむと
いう行事等も組み込まれています。
当日のみ参加もOKです。お時間
の許す限りご参加下さい。なお、
会員以外の方のご参加も自由です。

◇お慶び

浅野晶子姉(昭23・家)
文部省社会教育功労者賞
(平成2・11・3)

湯浅夏子姉(昭29・文地)

兵庫県功労者知事表彰

消費活動分野(平成3・5・3)

◇地区もより会

・尼崎地区(2・10・11) 11名

・須磨地区(3・3・27) 13名

・三木・小野地区(3・4・3) 11名

・姫路地区(3・5・) 12名

・北地区(3・9・1) 11名

予定

十月 尼崎・伊丹・垂水地区

十一月 東灘・灘地区

◇記念品贈呈

今年も卒業後五十五年の会員の
方々へ、およろこびのお箸(輪島
塗の推朱)を差し上げました。こ
の重ねられたるしのようにさま
ざまなご苦労もおありになったこ
とと思います。このお箸でおいし
くご飯をお召し上がりいただいで
いつまでもお元気でいらして下さ
いますように。

- ・藤枝 ふみ(文)姉
- ・村田千代子(理)姉
- ・柳 和子(家)姉
- ・大西 千枝(家)姉
- ・谷口 光子(家)姉
- ・藤本 高子(保)姉



支部総会報告

今年度の支部総会は五月二十六
日に東急インで、七十一名が出席
して開催された。

総会次第

- 一、開会のことば
- 二、支部長あいさつ
- 三、新入会員紹介とあいさつ
- 四、議長選出
- 五、議事

お願いします!

- (1) 平成二年度事業報告
- (2) 平成二年度会計報告
- (3) 平成二年度会計監査報告
- (4) 平成三年度事業計画
- (5) 平成三年度会計予算
- (6) 役員改選
- (7) 支部だより編集委員紹介
- 六、記念品贈呈
- 七、お話し「頭になかった大和なでしこ」
- 八、会食
- 九、閉会のことば

一、会員の皆様御多忙の事と存じ
ますが、会費未納の方は振込み
用紙を同封いたしますので、ど
うぞ御協力下さいませ。
二、住所・勤務先を変更されまし
た方は至急事務局まで御連絡下
さい。

計報

齊藤 幸様(大13・理)

楠本 孝子様(昭49・家食)

能勢 静子様(昭9・理)

溝川美枝子様(昭15・家)

出口 八重様(昭16A・文)

筋師 ふみ様(大13・理)

椿 春子様(昭5・家)

深尾 換子様(昭30・家住)

平成3・8・4

平成3・7・24

平成3・6・16

平成3・5・30

平成3・8・26

平成3・8・26

編集後記

第十五号兵庫県支部だよりは、
何事も一国の思惑とか利権とかで
はどうしようもない、換言します
と、今日の台所が即他国の様々な
事情と連動していると考えられま
す現代、国際化社会を中心テーマ
に編集しました。「意余りて言葉
足らず」の点はどうぞ御了承下さ
いませ。

(曾谷・竹田・東・高林・森川・山形)